

科目ナンバリング		U-LAS05 20019 LJ23							
授業科目名 <英訳>		地域地理学各論III (アジア・アフリカ) Topics in Regional Geography III(Asia and Africa)				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
テーマ：中国の「統一性の中の多様性」を考える。 私たち日本に暮らす者にとって、中国について語ることは、それほど難しいことではない。しかし、中国のもつ多様性はそうした中国イメージを容易に解体してしまう。この授業は、地域地理学の視角から中国を考えることを通して、地域地理学的方法に関する理解を深め、あわせて確かな中国像の形成をめざす。									
【到達目標】									
地域地理学の方法を具体的に修得する。 中国についての深い理解を形成する。									
【授業計画と内容】									
以下のような課題について、各回1課題の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。 (1) 統一性の中の多様性： 中国イメージとは？ (2) 人口： 中国人口の「統一性の中の多様性」 (3) 地形と気候： 多様性を簡潔に理解するための地域区分 (4) 米と小麦： 農業の地域的多様性とは？ (5) 食文化： どのような地域的な特徴があるか？ (6) 都市： 都市の多様性を把握する3つの方法 (7) 工業： 形成過程から考える多様性 (8) 資源： 「南水北調」をめぐって (9) 環境問題： 共感的に理解する中国の環境 (10) 日中戦争： 戦争の記憶について考える (11) 地域格差： 多様性が格差に変わるのは？ (12) 労働移動： 「農民工」が示す中国とは？ (13) 多民族国家： 中国における民族と国家の関係 (14) 華僑・華人： 4500万人がつくるネットワーク									
【履修要件】									
特になし									
地域地理学各論III (アジア・アフリカ)(2)へ続く↓↓↓									

地域地理学各論Ⅲ（アジア・アフリカ）(2)

【成績評価の方法・観点】

主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。
授業への参加度は、授業終了時のミニツツペーパー（5％）と授業後2週間以内に提出する課題レポート（15％）の提出によって測る。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは3回の提出を標準とする。

【その他（オフィスアワー等）】

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うことになります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

【主要授業科目（学部・学科名）】

総合人間学部